別表第百四十六（第五条第六号関係）

帳票ＩＤ	0110013	
帳票名称	中間申告書（汎用紙）	

項番	印字項目		実装必須項目	標準オプション項目	備考	諸元表										
	大分類	小分類				内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数/行※	和暦・西暦	文字溢れの対応	データを保持していない場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	法人管理番号		●				1	無	半角	任意	－	－	空白	9	－	※法人管理番号以下全ての項目において、標準仕様2.0版2.1.18.によりブランク発行可の制御を行えること。
2	提出日	元号		●		例）令和	1	無	全角	2	－	－	空白	9	－	固定文字列またはシステム出力とする。
3	申告区分			●	管理番号欄横の申告区分欄に出力	例）1	1	無	半角	3	－	－	空白	10	－	
4	首長肩書		●		受付印横の欄に首長肩書を出力する。 受付印横の欄に出力する首長肩書（○○○○長）の後に続いて、「殿」若しくは「宛」といった首長名方を出力することも許容する。	例）○○○○長	1	無	全角	20	－	－	空白	14	－	
5	法人番号		●				1	無	半角	13	－	－	空白	9	－	既定の枠があるため、先頭から「1桁＋△＋4桁＋△＋4桁」の編集は不要とする。
6	納税義務者名：法人名かな		●				1	無	－	50	－	○	空白	11	－	
7	納税義務者名：法人名		●				1	無	全角	20/2	－	○	空白	11	－	
8	納税義務者名：郵便番号			●	所在地欄の上段に表示。地方団体が公開する記載例により異なるため標準オプション扱とする。		1	無	全角	8	－	－	空白	11	－	
9	納税義務者名：所在地		●				1	有	住所型	20/2	－	○	空白	11	－	
10	電話番号			●	法人が支店の番号を記載するケースがあるため標準オプション項目とする。		1	無	半角	15	－	－	空白	11	－	ハイフン切りを考慮した桁数とする。
11	事業年度自	元号	●		改元を考慮し刷り込みでなく可変項目を可とする。	例）令和	1	無	全角	2	－	－	空白	11	－	
12		年	●			例）“３”	1	無	半角	2	－	－	空白	11	－	前０埋めは行わない。 元年は“１”表記とする。
13		月	●			例）“４”	1	無	半角	2	－	－	空白	11	－	前０埋めは行わない。
14		日	●			例）“１”	1	無	半角	2	－	－	空白	11	－	前０埋めは行わない。
15	事業年度至	元号	●		改元を考慮し刷り込みでなく可変項目を可とする。	例）令和	1	無	全角	2	－	－	空白	11	－	
16		年	●			例）“４”	1	無	半角	2	－	－	空白	11	－	前０埋めは行わない。 元年は“１”表記とする。
17		月	●			例）“３”	1	無	半角	2	－	－	空白	11	－	前０埋めは行わない。
18		日	●			例）“31”	1	無	半角	2	－	－	空白	11	－	前０埋めは行わない。
19	申告名称		●			“中間”、“修正中間”	1	無	全角	4	－	－	空白	11	－	
20	整理番号（発行整理番号）			●	申告書の整理番号欄に出力		1	無	半角	15	－	－	空白	11	－	
21	既に納付の確定した当期分の法人税割額		●				1	無	半角	10	－	－	空白	11	－	末尾2桁は刷り込みとし、1/100を乗じた額を出力する。 非表示も可とする。
22	既に納付の確定した当期分の均等割額		●				1	無	半角	10	－	－	空白	11	－	末尾2桁は刷り込みとし、1/100を乗じた額を出力する。 非表示も可とする。

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。